

《小学校高学年の部》

「元気を届けたい」

有田市立宮原小学校 4年

なかもま

ゆめ

中山 結夢 さん

「さあ、今日も元気パワーで。」

そう声に出してから、私はむかうところがる。それは、歌キッズ活動だ。

歌キッズとは、宮原小学校四年生が集まったボランティアグループである。私たち、宮原っ子の四年生は何でもやる気いっぱい元気っ子。年に数回、デイサービス利用のお年よりの方と交流し、その元気パワーをとどける活動をしている。運動会の後には勇ましいソーランをおどり、音楽会の後にはきれいな合そうをえんそうする。今年の九月の終わりには、番外へんとして、数人でピアノのえんそう会も予定しているので、とっても楽しみだ。お年よりの方たちは、そんな私たちを見て、毎回とてもよろこんでくれ、手をたたいて応えんしてくれる。

「ありがとうよ。」

と、お礼を言ってくれたり、中には、

「あれえ、よしちゃんのお孫さんけえ。」

と、私のおばあちゃんの名前を言ってくれる方もいたりする。地いきのつながりですごくいなあ。

ある日の歌キッズの活動で、何度も何度もソーランをおどったことがあった。お年よりのみんながよろこんでくれるから、つつい

「もう一回見せてあげよう。」

と何度もはり切った。でも正直つかれた。

家に帰ってお母さんに話すと、

「見せてあげようとか、何かしてあげなくちゃと思うんじゃないかって、いっしょに楽しんでもうと思うのが大切じゃないかなあ。ボランティアって。」

とお母さん。その通りだと思った。そう言えばソーランの後、いっしょに玉送りゲームやクイズを楽しんだ時は、何もつかれたなんて思わなかった。自分の気持ちしだいだ。

そうわかった時、私に笑顔の花がさいた。これからも届けたい。元気と笑顔の花を。